

小林一三「小林一三書簡」昭和12（1937）年9月4日

石橋湛山先生

一三

先般は拙著「天祐！北支事変」に就て
御高教を玉はり御厚志御礼申上候。末尾

「新殖民政策」「新資本主義」に就ては

既に稿成り近著小冊子に説明致順

序に御座候。御教示を得る事を樂居候。

尚別冊「戦時公債発行案」到底各方面からの御賛

同は六ヶ敷と思ひますが、『あの時に、こういふ

道もあつた』と近き将来に於て相顧みて

国家の前途を語り合ふ何人かのあるを

確信して御座右に御送付申上候。御笑読

の榮を玉はらば幸甚

「天祐！北支事変」も大分訂正済

也。同封いたし置候。 不一